

公	表	日
令和	年	月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和２年度宮崎管内環境影響調査外業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所長 金納 聡志 宮崎市大工２丁目３９番地
契約年月日	令和 ２年 ５月２９日
契約業者名	(株) 千代田コンサルタント
契約業者の住所	宮崎県宮崎市永楽町１７３－１
契 約 金 額	４１，９９８，０００円（税込み）
予 定 価 格	４１，９９８，０００円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり （※随意契約理由書を添付すること。）
業 務 場 所	宮崎河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	令和 ２年 ５月３０日
履行期間（至）	令和 ３年 ２月２６日
備考	入札情報サービス（ＰＰＩ） （ http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx ） にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和2年度宮崎管内環境影響調査外業務
2. 履行場所 宮崎河川国道事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：宮崎市永楽町173-1
会社名：株式会社千代田コンサルタント
電 話：(0985)24-0700
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、東九州自動車道（清武～日南）においてはクマタカモニタリングを、東九州自動車道（日南東郷～油津）においては環境保全措置・配慮対策の実施を、東九州自動車道（高松地区）においては草原生植物モニタリングを行うほか、日南地区（日南防災南区間）においては、これまでの現地調査結果を基にした猛禽類繁殖状況調査を行うものである。また、宮崎市北部地域の環境影響評価手続きに向けて、項目・手法（素案）作成に必要な委員会資料の作成及び準備書（素案）の作成を行う業務である。

2) 業務の内容

・計画準備	一式
・自然環境調査（クマタカモニタリング）	一式
・環境保全措置・配慮対策の実施	一式
・草原生植物モニタリング	一式
・猛禽類繁殖状況調査	一式
・委員会資料作成	一式
・準備書（素案）作成	一式
・報告書作成	一式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を29者が入手（ダウンロード）し、6者から参加表明書が提出され、5者が参加資格を有していた。

参加資格を有する5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針、実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における「フローの妥当性」の具体的な内容が記載されていること及び評価テーマの「環境アセスメントにおける予測・評価、環境保全措置検討にあたっての留意点」に対する技術提案において、「的確性」における「与条件との整合性・着眼点・問題点・解決方法等」、「実現性」における「説得力、提案内容の裏付け」が適切であり、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

宮崎河川国道事務所 調査第二課長